

## イラン・テヘラン

### Mohammad Mahdi Barati

「IYCPF2019」に参加し、私の街に戻った後の活動状況は、以下のとおりです。

1. テヘラン平和博物館の理事会メンバーと、イラン事務局とテヘラン平和博物館の同僚に旅の報告書のプレゼンテーションをしました（9月1日）。
2. カシヤン地方（8月7日のことについてプレゼンした都市）に旅のレポートを送付しました（9月5日）。
3. テヘラン平和博物館の青少年グループ（Peace Crane）とミーティングを開き、日本文化、原爆による惨状、恒久平和の構築や人道的な見地からの若者の役割について議論、意見交換をしました。また、「広島アピール2019」を読み、そのことについて話し合いました（9月8日）。
4. 「願いの木」を作成し、私たちのグループ（Peace Crane）の目標について、テヘランの公共の場所で人々に説明し、折り鶴に平和への願いを書いてもらい、その折り鶴を「願いの木」につるしました。また、協力してくれた人には折り鶴もプレゼントしました（9月19日）。

また、カシヤンの市長が、IYCPF2019での経験と、その目標についての話を聞きたいと私を招いてくれました。近いうちに訪問するつもりです。

日本での素晴らしい経験について沢山話をしました。実際、様々な面で多くを学ぶことができました。そして「青少年国際平和未来会議2019広島」の主な目標に従い、核兵器（および化学兵器）の使用を禁止する必要性、日本文化、平和首長会議のアクション・プラン（2017～2020）、盆踊りの背景、原爆および平和記念式典、そして私にもたらした影響、私が日本で見たその他の素晴らしいものを私の家族や友達に説明しました。

最後に、IYCPF2019の実行委員会に感謝の意を表したいと思います。